



# 株主の皆様へ

| 第117期 中間報告書 | 2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日



株主の皆様に向けて作成した  
決算報告書を掲載しています。



# 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご支援とご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

第117期中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における当社グループを取り巻く経営環境と事業活動の概況並びに今後の取り組みについてご報告させていただきます。



代表取締役社長

さくら だ たけ し  
櫻 田 武 志



## 当中間連結会計期間の経済情勢

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、米国の関税政策の動向により輸出関連企業を中心に企業収益の下押し圧力が高まるなど、依然として不透明な状況が続いております。一方で人手不足を背景とした賃上げの継続から、雇用・所得環境が改善し、景気は緩やかに持ち直してまいりました。



## 当社グループの業績概況

当社グループの業績概況といたしましては、昨年譲り受けた保護フィルム事業の早期立ち上げと価格転嫁の推進に注力し、収益確保に努めてまいりました。

その結果、当社グループの経営成績は、売上高155億26百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益3億85百万円(前年同期比296.9%増)、経常利益4億97百万円(前年同期比218.9%増)、親会社株主に帰属する中間純利益3億83百万円(前年同期比258.3%増)となりました。



## 今後の取り組みについて

軽包装部門につきましては、計画に基づき電子レンジ対応食品用包材「レンジD o !」の商品ラインアップを拡充するとともに、非食品分野の化粧品、日用品、医療及び医薬包材において

当社の高い技術力を活かした新製品の開発・拡販に注力しております。さらに、プラスチックボトルからプラスチックフィルムパウチへの切替え、プラスチックフィルムから紙を主原料とする包材への転換、モノマテリアル化によるリサイクル性の向上など、環境配慮型製品の展開を積極的に進めております。これらの取り組みを通じて、中長期的な収益基盤の強化と持続可能な社会の実現を目指してまいります。

産業資材部門につきましては、シノムラ化学工業株式会社の子会社化によるシナジー効果が具体的に現れ、製造部門の統合や設備の統廃合による効率化が着実に進展しております。さらに、期初に掲げた方針に基づき粘り強く活動を続けた結果、お取引先のご理解を得ながら価格改定を実現し、当中間連結会計期間において黒字転換を果たしました。今後はこの流れを確実なものとし、通期での黒字化達成を目指して取り組んでまいります。

加えて、当部門の主要製品である粘着テープ等に用いられる剥離紙のリサイクルについても、業界全体で推進されている取り組みに積極的に参画し、環境負荷低減と資源循環型社会の実現に貢献してまいります。

機能性材料部門につきましては、2024年11月に株式会社レゾナックより譲り受けた表面保護用フィルム事業の本格稼働が始まりました。期末に向けては、当該事業が売上拡大と利益確保の双方に寄与することを期待しており、今後はこの事業を足掛かりとして、新たな市場や分野への展開を図ることで、将来の

成長基盤をさらに強化してまいります。



## サステナビリティへの取り組み

当グループでは「サステナビリティ推進委員会」の方針の下、環境・社会・人材に関する取り組みを着実に進めております。環境面では、CO<sub>2</sub>排出量の管理、省エネルギー設備の導入、太陽光パネルやCO<sub>2</sub>フリー電気の活用などを計画通り継続しております。

人的資本に関しましては、人事制度改革や従業員エンゲージメント向上の取り組みを継続しております。単なる従業員満足度の向上にとどまらず、従業員が会社への愛着心や貢献意欲を自発的に高められる職場づくりを目指しています。経営層だけでは気づきにくい課題に対しても、従業員一人ひとりが柔軟に対応し、積極的に発信・行動する企業文化の醸成に努めております。

将来の成長を実現するために、会社と従業員が「パートナー」として共に成長していくことを重視し、サステナビリティへの取り組みと収益性の向上を両立させることで、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

決算  
ハイライト

売上高  
**155億26**百万円  
(前年同期比 4.1%増)

営業利益  
**3億85**百万円  
(前年同期比 296.9%増)

経常利益  
**4億97**百万円  
(前年同期比 218.9%増)

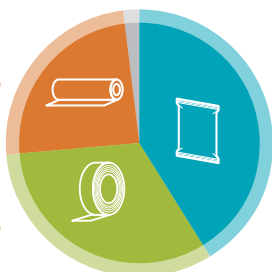
親会社株主に帰属する中間純利益  
**3億83**百万円  
(前年同期比 258.3%増)

## ■ 部門別売上高構成比率

機能性材料 24.4%

産業資材 32.5%

軽包装 41.3%



## ■ 部門別売上高

売上高 155億26百万円

軽包装 64億 7百万円

産業資材 50億50百万円

機能性材料 37億86百万円

### 軽包装

#### 事業内容

食品、医薬品、医療器具、日用品、電子部品、精密機器等の包装材料の製造・販売を行っています。市場ニーズを的確にとらえ、内容物に最も適したパッケージを供給するとともに、自然環境に優しい包材の開発にも取り組んでいます。

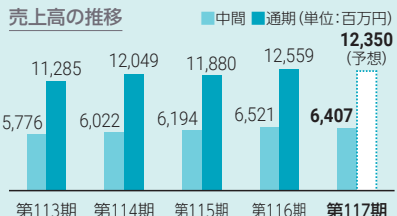
#### 当中間連結会計期間の概況

**食品用包材**は食品価格高騰の影響を受けて電子レンジ対応食品用包材「レンジD.O.」の受注が減少したことや、猛暑の影響を受けて飲料用パウチ包材の受注が減少したことから減収。

**医薬品・医療用包材**はジェネリック薬品向けにPTPシート「テクニフィルム」の拡販が進み増収。

**日用品等の包材**は収益性改善を目指して、低価格、低採算製品の見直しを行ったことから販売数量が減少し減収。

#### 売上高の推移



### 産業資材

#### 事業内容

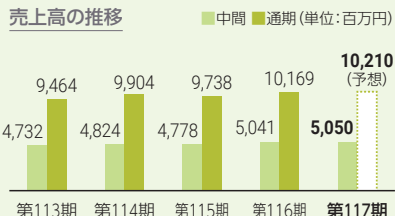
粘着テープ・ラベル等の基材、剥離紙の製造・販売を行っています。近年は、粘着テープやラベルの用途が多様化・高度化しており、こうした要求に応え、長年にわたり培ってきたラミネート技術や離型剤塗工技術を駆使し、新製品開発を進めています。

#### 当中間連結会計期間の概況

**紙・布へのラミネート製品**は荷動きの悪さや海外からの安価な布テープ流入の影響を受けた梱包用テープの需要下落に引きずられ減収。

**剥離紙**は新機種のスマートフォン向けにFPC（フレキシブルプリント基板）用工程紙が採用され好調に推移したことから増収。

#### 売上高の推移



### 機能性材料

#### 事業内容

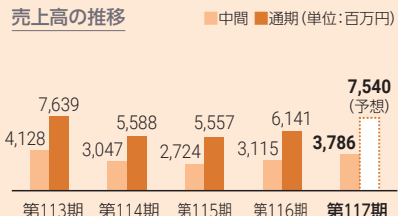
粘着塗工タイプ、2層押し出しタイプ、精密塗工タイプに分類される各種表面保護フィルムの製造・販売を行っています。フラットパネルディスプレイ向け偏光板や輝度向上フィルム等の光学用途から建材用途に至るまで、様々な部材を加工時・輸送時・保管時のキズ・ホコリ・汚染から保護します。

#### 当中間連結会計期間の概況

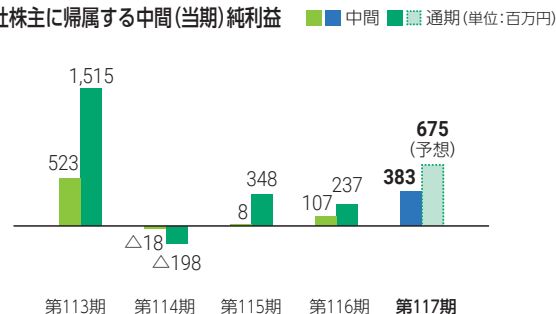
**オレフィン系粘着加工品**については前期に譲り受けた保護フィルム事業の受注が寄与したことにより増収。

**その他の粘着加工品**はフォルダブルスマートフォン用途向け保護フィルム等が在庫調整の影響を受けて減収。

#### 売上高の推移



■ 中間 ■ 期末 (単位:百万円)



<https://www.sun-a-kaken.co.jp/assets/pdf/ir/library/result/202511tanshin1.pdf>





## JAPAN PACK 2025[日本包装産業展]

2025年10月7日(火)～10月10日(金)、東京ビッグサイトにて開催された「JAPAN PACK 2025[日本包装産業展]」に出展いたしました。「CLOMA/パビリオン」に参加・出展し、主力製品であるレンジDo!をモチーフにして、パッケージによる環境に配慮した社会の実現に向けた、「サステナブルシリーズ」と、更なる機能を追加した進化系の「エボリューションシリーズ」を展示。サンエー化研のパッケージソリューションを紹介いたしました。



## インターフェックス ジャパン

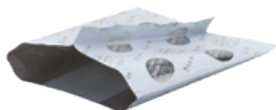
2025年7月9日(水)～7月11日(金)、東京ビッグサイトにて開催された第27回「インターフェックス ジャパン-[医薬品][化粧品] 製造展」に双日プラネット株式会社様と共同で出展いたしました。当社は「Medi Green®」を中心に出展いたしました。多くの方に当社ブースへお立ち寄りいただき、製品をご覧いただきました。



### 環境対応

#### モノマテリアル

#### レンジDo! ピロータイプ



オールオレフィン仕様  
OPP/LLDPE

##### ●特徴

- ・加熱時に蒸気口を自動で形成
- ・ロールでの供給可能
- ・既存設備に対応可能



#### レンジDo! バイオマスタイプ



バイオスマーク  
の付与可能

##### ●特徴

CO<sub>2</sub>排出量の削減効果が期待できる

##### バイオマス度10%

▶約**2.7**%のCO<sub>2</sub>削減効果

##### バイオマス度20%

▶約**5.4**%のCO<sub>2</sub>削減効果

##### バイオマス度30%

▶約**8.1**%のCO<sub>2</sub>削減効果

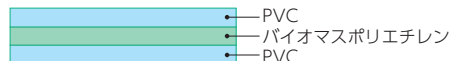
※150×190サイズバイオマスPEレンジ袋(Ny×PE)の場合



#### バイオマスPE

#### 医療用PTP包装シート『Medi Green®』

バイオマスポリエチレンを配合したPVC(ポリ塩化ビニル)ベースの医薬錠剤包装用PTP(※)シートを世界に先駆け製品化し、医薬用包材のCO<sub>2</sub>削減に大きく貢献しています。



※PTP(Press Through Pack):錠剤やカプセルをプラスチックとアルミで挟んだシート

#### 薄肉化

#### レンジDo! スリムタイプ

**10**μmの  
プラスチック  
減容



**20**μmの  
プラスチック  
減容

##### ●特徴

プラスチックの薄肉化によって  
プラスチック使用量を削減



#### ノンソル



##### 約**7.0**%のCO<sub>2</sub>削減効果

※150×190サイズレトルトノンソル(蒸着PET×Ny×CPP)の場合

##### ●特徴

当社独自の接着剤と加工技術によりVOC排出を抑える環境配慮型ノンソルベントラミネート方式をレトルト食品分野でもご利用いただけるようになりました



#### リサイクルフィルム



##### リサイクルPET

約**27**%のCO<sub>2</sub>削減効果  
※PET層単体での比較数値となります。

##### リサイクルNY

約**38**%のCO<sub>2</sub>削減効果  
※NY層単体での比較数値となります。



# 株式の状況・会社概要

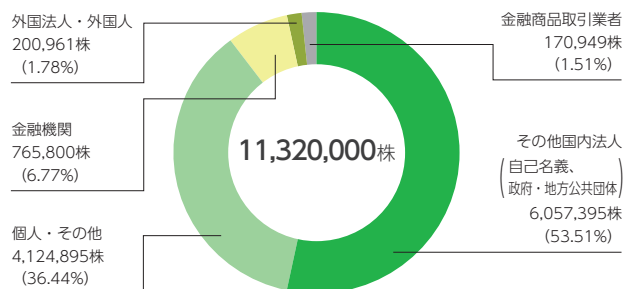
2025年9月30日現在

## Stock Information & Corporate Data

### 株式の状況

発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	11,320,000株
株主数	3,033名

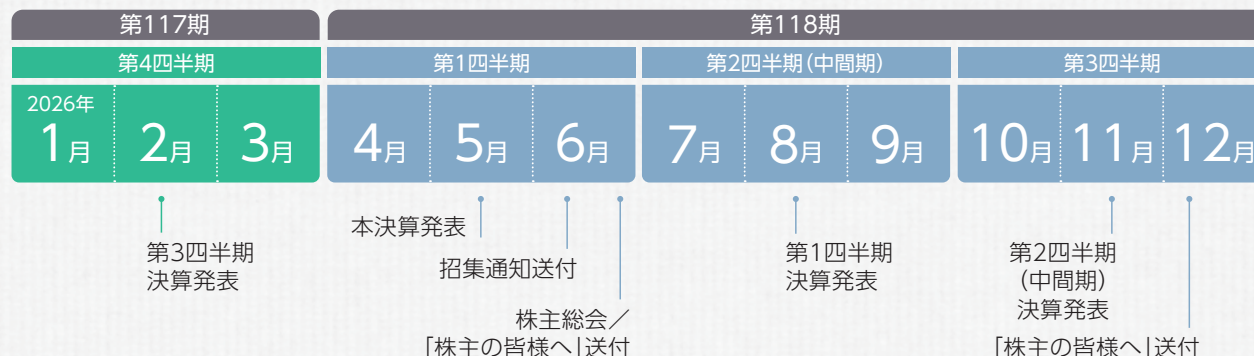
### 所有者別株式分布状況



### 会社概要

商号	株式会社サンエー化研
本社所在地	東京都中央区日本橋本町1-7-4
事業所	関西支店、名古屋営業所、台北営業所 静岡工場、袋井工場、掛川工場、掛川工場WEST、 奈良工場 R&Dセンター
設立	1942年9月
資本金	21億76百万円
従業員数	440名
主な事業内容	紙、プラスチック、金属箔等を主原材料とする 軽包装材料、剥離紙、粘着テープ基材、表面保護 フィルム等、包装材料関連製品の製造及び販売

### IR カレンダー



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711(通話料無料) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東証スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.sun-a-kaken.co.jp">https://www.sun-a-kaken.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします)

### 株式事務に関するお問い合わせ

- (1) 住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取請求等のお申出先について  
証券会社に口座を開設されている株主様は、当該証券会社にお問い合わせください。  
証券会社に口座がないため特別口座に記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関(兼株主名簿管理人)である、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部にお問い合わせください。
- (2) 払渡期間経過後のお取り扱い  
配当金領収証の裏面に受取方法を指定し、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部までご郵送いただくか、同銀行全国各支店窓口にてお受け取りください。

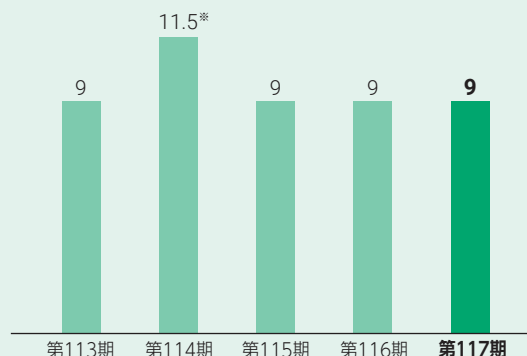
## 配当金について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけており、将来の事業展開と企業体質の強化に備えて必要な内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としています。

この方針の下、第117期(2026年3月期)の中間配当金につきましては、連結経営成績及び財政状況等を総合的に勘案し、1株当たり9円とすることといたしました。

### 1株当たり配当金(中間配当)

(単位:円)



※創立80周年の記念配当2.5円を含む。

ホームページの  
ご案内



当社の詳細なIR情報は、ホームページをご覧ください。

URL▶<https://www.sun-a-kaken.co.jp>

## 株式会社 サンエー化研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-7-4  
TEL 03-3241-5701 FAX 03-3241-5719



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。